

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	カモシカ食害対策事業			事業コード	1950
担当課等	所属名	玉山総合事務所 産業振興課	担当係名		
	課長名	玉山総合事務所 産業振興課	担当者名	坂本勝彦	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 2項 2目 カモシカ食害対策事業(013-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 不明年度～)		
事務事業の概要	天然記念物であるカモシカの食害を防ぐため、造林木に忌避材を塗布する。					
根拠法令等	国宝重要文化財等保存整備事業(天然記念物食害対策)					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
ニホンカモシカによる植林木の食害が昭和40年代後半から拡大し、森林経営者から対策について要望があったため。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
ニホンカモシカを保護するのであれば、食害対策は実施すべき。(市民から。時期は不明確)						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
木材は価格低迷の状況であるが、外材の輸入不足により木材需要が高まってきている、森林資源の保存のために伐採後の植林は欠かせないものであり、今後も現状位の事業量は続くものと想定される。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	5年生以下の幼齢木	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 5年生以下の人工林面積	単位	ha
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・森林組合への委託により、幼齢造林木に忌避剤を塗布し食害防除をした。 ・国庫及び県補助の関係事務を実施した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 委託により、幼齢造林木に忌避剤を塗布する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 防除面積(玉山区)	単位	ha
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・幼齢造林木がカモシカによる食害を受けないようにする。 ・山林所有者が経済的に打撃を受けないようにする。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. カモシカ食害により被害を受けた人工林面積 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	ha
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha) 畑地面積(単位:ha) 樹園地面積(単位:ha) 民有林面積(単位:ha)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	5年生以下の人工林面積	ha	88.11	147.83	150	150	150	150	24年度 150
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	防除面積(玉山区)	ha	30.00	27.03	31	31	28	28	30年度 28
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	カモシカ食害により被害を受けた人工林面積	ha	0	0	0	0	0	0	30年度 0
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,507	1,745	1,650	1,739	1,570	1,570	*****
財源 内訳	④国	千円	1,004	1,163	1,100	1,159	1,046	1,046	*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	503	582	550	580	524	524	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,507	1,745	1,650	1,739	1,570	1,570	*****
	延べ業務時間数	時間	180	180	180	180	180	180	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	720	720	720	720	720	720	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,227	2,465	2,370	2,459	2,290	2,290	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 幼齢植林木の保護により、生産性を高める
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 林業を取り巻く環境は厳しく、森林所有者に負担を強いるべきではない。
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 5年生以上の造林木は、概ね生長点がカモシカに食べられない位置まで高くなっているため、現状のままが良い。
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 本事業は補助金に頼っている部分が大きく、天然記念物であるカモシカ以外の食害防除を目的とすることは難しい。
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 新年度の造林面積の精査により、申請段階と作業時との作業面積の乖離をなくす。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: カモシカの食害により森林所有者が経済的打撃を受け、人工林面積が減少してしまう。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 必要最低限の経費で行われている。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 業務は十分スリム化されているため、これ以上削減するのは難しい。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 専門機関の情報も得ながらの事業対応であり、受益機会は適正であると考える。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: カモシカの保護の理由で、木材価格の低迷している状況からも森林所有者に負担を強いるべきでない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 新年度の造林面積の精査により、申請段階と作業時との作業面積の乖離をなくす。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 植林を行う事業者から見ると、新年度の植林面積が確定しない4月早々に補助申請を提出するよう求められるため、補助決定による予定面積と実際の植林面積との間に毎年乖離が生じている。食害防除作業を秋に行っていることを考えれば、申請時期を植林面積が確定できる時期まで遅らせることは充分可能と思われる。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>幼齢植林木をカモシカ食害から保護することにより、森林資源の保全等に貢献した。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">→</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>カモシカ食害を防止することにより、森林資源を適正に保全し、森林の持つ多面的機能が発揮されることから、今後も継続実施してまいりたい。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									